

## 施設名称について

- 前回議題の見直し案
- A 案 霧島市民交流センター（プラザ・館）
  - B 案 霧島市ふれあいセンター（プラザ・館）
  - C 案 霧島市まちなか交流センター（プラザ・館）

前回会議では、事務局から A 案は委員アンケートにおいて複数名から記述があったこと、B 案については全国の類似施設の事例から、やわらかい印象を与える名称として挙げたものであるが、霧島市内には重久の「いきいき交流センター」、国分小近くの「ふれあいの郷」、富の湯の正式名称が「浜之市ふれあいセンター」といった施設があるため、混同される恐れがあることから、既存の施設と区別でき、かつ、やわらかいネーミングとして挙げたのが C 案であることを説明した。委員からの意見は、ほぼ C 案についてであった。

### 【肯定的意見】

- ・ 「まちなか」という言葉は、どの世代にも共感を持ってもらえるという感じを受けた。
- ・ 場所的に街中という形で中心市街地にあるというイメージを持たれやすいのでは。
- ・ 中心市街地の中にあり、ほっとしたり、わくわくするような感じを受ける。
- ・ 商工観光においては、「まちなか」はいい言葉だと思う。
- ・ 「まちなか」に違和感はない。やわらかいというイメージというのも理解できる。

### 【否定的意見】

- ・ 都市計画行政でよく使われる。既存の商店街や街並みの中にあるイメージを受ける。
- ・ 上場地区の方が阻害されてしまったというイメージ受けないだろうか。
- ・ 施設の性格からすると、日常的に使う人が定期的に使う場所だと思うので「ふれあい」とか「市民交流」のほうがイメージに近い。
- ・ 「交流センター」という言葉に支援やスキルアップのイメージは無い。
- ・ 「まちなか交流センター」は移住促進などでよく使われ、建築の機能で「まちなか交流センター」というと体育館や調理室は想定しないので、建築としては違和感がある。

上記を踏まえ、次のとおり施設名称を検討する

- ・ 施設名称には「まちなか」を入れる。
- ・ 「交流」や「ふれあい」は使用しない。
- ・ 頭に「霧島市」を付けるか否か。

（霧島市に所在する施設という意味で付けたほうがよいか。

利用者を霧島市民に限定してしまうイメージから付けないほうがよいか。）